

明石市立大蔵中学校だより「2020年10月18日(第78号)」

# 書あり 師あり 友ありて



## ～ 東播地区中学校新人体育大会を終えて ～ 後165日しかない練習日をいかに使うか？！

学校長 平田 高之

先週の軟式野球に続き、この土日に「東播地区中学校新人体育大会」が開催され、多くの部活動が参加しました。新型コロナウイルス感染症のために、3年生の大会は市内のみとなっていたのですが、一部無観客となりましたが、さまざまな感染症対策をしながら、東播地区大会が無事に終了することができました。関係者の皆様のご尽力に改めて感謝したいと思います。

剣道部男子が見事平成24年以来7年ぶりの優勝を飾りました。しかも、ここ数年のライバル加古川中学校と決勝戦で対戦し、1分2敗(しかもポイント0対4)から、副将□□□大将□□□ともが2本取って連勝し決定戦となりました。決定戦は、代表選手による3分1本勝負なのですが、その決定戦も延長まで突入し、□□□が見事な1本勝ちで逆転勝利を飾りました。勝利への執念は本当にすごかった！

個人戦では、女子は初戦で敗れましたが、男子は、□□□・□□□が第3位、□□□がベスト8ということで、団体戦と合わせて、11月21・22日に姫路の県立ウイング武道館で開催される県大会の出場権を獲得しました。残念ながら無観客のようですが、さらなる活躍を期待しています。

女子バレー部は、市内大会では、粘りの戦いから見事準優勝して東播大会に臨みました。社中学校を相手に、第1セットを取りながら、第2セットを取り切れず相手に流れがいきってしまい、第3セットも一進一退の攻防でしたが残念ながら22-25で相手に取られ惜敗しました。

ハンドボール部は、初戦、平岡中学校に11-20で敗れ、県大会出場をかけた、敗者戦の浜の宮中学と対戦しました。前半5-4とリードしながら、後半は攻撃を封じ込められ、また、カウンター攻撃を決められ5-11で敗れました。

卓球部女子個人戦には3名出場し2名は2-2のフルセットにもつれ、後わずかの所で敗れました。

柔道部は、団体戦は白陵中学校に敗れ、個人戦も初戦で敗れました。

女子バスケットボール部は、県大会優勝を狙う県内屈指の強豪鹿島中学校に、12対152という、悔しい負け方をしました。今の2年生は、前チームから試合に出ている選手が少なく、1年生も出場するというチーム構成ではありますが、この悔しさを是非晴らしてほしいと思います。

結果の詳細は、「ホームページ」「部活動紹介」「令和2年度活動実績」に一覧表を掲載します。

東播地区は、県内で最も部活動が盛んな地区で、県・近畿・全国レベルの競技も多く、突破するのは容易ではありません。市内大会を勝ち抜き東播大会に出場したことは誇りに持ちながら、来年の総合体育大会において、東播大会に出場するだけでなく勝利するためには何が必要か、市内大会で敗れたチームも含めて、自分たちでミーティングを持ちしっかり考え、普段の練習内容や練習に向かう姿勢等を今ここでもう一度見直してほしいと思っています。

例年通りであれば、市総体は6月25・26日となる予定です。今日(10月19日)から、残された日数は**248日**です。しかし、「NO部活デー」「年末年始シーズンオフ」「修学旅行」「テスト前休み」等を計算すると83日となり、実質練習ができるのはわずか**165日**しかありません！1日1日、もっといえば1時間、1時間の練習を、本当に大切に使うしてほしいと思っています。

